

「やわたはま国際MTBレース」サイクルスポーツと市民参加型イベントの融合 (八幡浜市)

【取組概要】

八幡浜市では、山がちな地理的特性を生かし、2002年から毎年、オリンピック競技種目でもあるマウンテンバイククロスカントリー競技の国内シリーズ戦を開催している。

本大会は競技関係者からも評価が高く、過去、3度にわたってオリンピック日本代表選手の選考レースに選ばれたほか、国内シリーズ戦では数少ない国際競技認定を受けた国際大会として開催している。

また、2015年大会では国内唯一、国際大会認定クラス2への昇格を果たし、海外からも注目される大会となった。

さらに、マウンテンバイクを身近なスポーツとして、いつでも誰でも楽しむことができるよう、年間を通じてマウンテンバイクコースを開放し、マウンテンバイクの貸出し事業や初心者向け教室の開催などに取り組んでいる。

人口 36,199人

担当部署 八幡浜市教育委員会生涯学習課

事業実施期間 2002年~現在

取組事例のURL

<https://www.facebook.com/city.yawatahama.MTB>



参加選手と市民ボランティア

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

「やわたはま国際MTBレース」は、国内最高峰の選手が参加する競技大会としてだけでなく、初心者や小学生、高齢者まで幅広い選手層が参加できるよう、小中学生部門や耐久レースを設けるなど、競技種目にも工夫を凝らしている。

また、市民参加型のウォーキングイベント「歩け歩け大会」、各種ファミリーイベントを同時開催することで、競技参加者は一般来場者からの多くの声援を受けることができる。

一般来場者にとっても、普段、触れる機会の少ないサイクルスポーツの魅力を経験する機会が得られ、競技の普及が期待される。

➤ 参加者数 約354人

➤ 参加選手年齢層(2015大会) 6~59歳

➤ 来場者数 2日間延べ約5,200人

➤ 八幡浜市が持つマウンテンバイク競技分野の地域資産(強み)を生かし、地域の活性化と国際交流を図るため、Tokyo2020事前トレーニング(キャンプ)の候補地となることを目指している。

➤ シクロクロスなど、新たなオフロード自転車競技大会の開催を通じた県内開催市町との連携を検討している。



選手にエールを送る子供達